

1章 総説

目的/経緯/位置づけ/討議の要点/活動経過/国際的視点

委員会構成: 専門家集団として学術的討議
JAEE, AESJ, JSCE, JNES, JEA
Academia, Utility, Contractor

IAEA

耐津波安全の基本原則

2章 地震・津波工学に求められる原子力安全の基本事項

深層防護ベースとシナリオベースの議論のギャップを埋める

共通原因故障の影響

地震・津波ハザードの不確定性

フロント系+サポート系=全体システム

3章 原子力発電所の地震・津波シナリオ

事実・論理性・想像力

GEJE下のNPPの挙動(事実)

想定される事故シナリオ(論理性)

「設計術」に係る事故シナリオ(想像力)

周辺地域が関連する事故シナリオ

ヒューマンファクターが関連する事故シナリオ

4章 原子力施設の地震・津波安全に関する性能

設計領域での要求性能

AM領域での要求性能(CD防止)

SAM領域での要求性能(CD対応)

SSCの要求性能(個々のSSC/多重性、多様性、独立性)

5章 リスク論に基づく津波防御の体系

津波の作用、影響、工学的方法

6章 津波の作用

7章 津波防御に関する工学的方法

技術レビュー

体系化の考え

構造工学・機械工学的検討・提案

回復力の維持

津波関連情報システム活用

8章 フラジリティ評価

10章 耐津波工学関連の解析コード

社会との関わり

9章 一般防災との関連

11章 耐津波工学の体系